

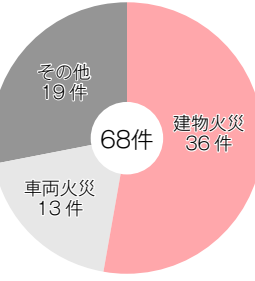
火災・救急・救助などの出動状況

平成23年中(1~12月)

住宅火災の多くは、火の取り扱いの不注意が原因です。昨年(22年)の富士見市・ふじみ野市・三芳町での火災の件数は68件で、平成22年に比べて6件増加しています。1人の尊い命と、多くの財産が失われています。

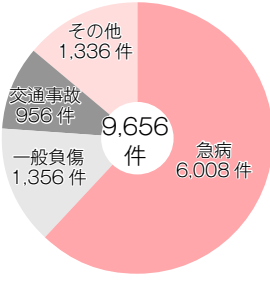
救急車の出動件数は9千656件で、平成22年に比べ398件増加しました。医療機関に搬送された方のうち、半数以上が軽症と診断されました。救急車の適正な利用をお願いします。

火災

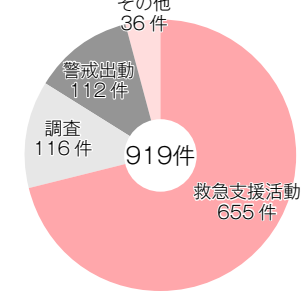


- 主な出火原因—
- 放火(疑いを含む) 21件
 - タバコなど 5件
 - コンロ 5件
 - 火あそび 4件

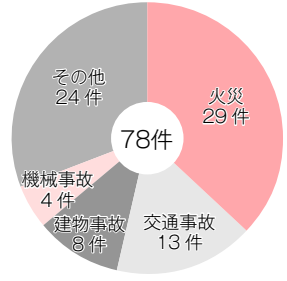
救急



警戒 救急支援など



救助



- 救急支援活動 救急隊の活動を消防隊が支援する活動で、傷病者をより安全に救急車に収容するための出動
- 調査 異臭やたき火の放置などのうち、人的被害や危険性の少なかった物に対する出動
- 警戒出動 ガソリンの流出など、危険物除去や、ガス漏れによる報知器の鳴動による出動

埼玉県第2ブロック 消防救助技術指導会

当消防組合ほか、近隣消防本部の参加により、救助技術の正確さ・迅速さを競う消防救助技術指導会を開催します。見学は自由です。皆さんの応援をお待ちしています。

とき/5月18日(金)午前9時~

場所/富士見消防署消防訓練場 ※臨時駐車場(キラリふじみ)に限りがありますので、車での来場はなるべく遠慮ください。

問合せ/消防本部総務課 ☎049-261-6004

普通救命講習会

とき/4月22日(日)午前9時~正午

場所/消防本部大会議室

対象/市内在住・在勤・在学の方

定員/30人(申込順)

申込み/4月9日(月)~13日(金)午前8時30分~午後5時に電話で問合せ/

消防本部救急課 ☎049-261-673



最新型車両を導入し、消防力の強化をはかりました

◎中央消防署(ふじみ野市)救助工作車(Ⅲ型)



車内は、防火衣などの着装が可能なハイルーフ仕様



悪路を走破する4WDシャーシに、照明装置、車両用クレーン、前後引きウインチなどを搭載。高度救助資機材も積載しています。



震災対応資機材を積載

平成9年に配備した救助工作車の老朽化に伴い、3月に更新しました。ほかの都道府県で、大規模な災害が発生した場合に応援出動する、緊急消防援助隊に登録されています。

春の火災予防運動を実施しました

(3月1日~7日)

春先は風の強い日が多く、火災が発生しやすい時季です。消防署では、皆さんの防災意識をさらに高めていたと、火災予防運動期間中、火災予防キャンペーンを行いました。

火災の発生を防止し、万一発生しても、尊い生命と貴重な財産を守る事が目的です。

住宅用火災警報器の設置推進と不適正販売への注意、老朽化した消火器の破裂事故への注意のほか、放火による被害の防止策をお知らせしました。

また、大型店舗などを対象にした特別査察の実施や、家庭内の防火対策の普及を目的に、消防職員・消防団員が一般家庭を訪問し、防火診断を行いました。



煙体験ハウスで視界不良を体験



ミニ防火服を着て敬礼!

もう設置しましたか?



住宅用火災警報器

住宅火災 いのちを守る7つのポイント

- 【3つの習慣】
 - ・寝たばこは絶対に禁止
 - ・ストーブの近くには燃えやすいものを置かない
 - ・使用中のコンロから離れる時は、必ず火を消す
- 【4つの対策】
 - ・住宅用火災警報器の設置
 - ・防災品の使用
 - ・住宅用消火器の常備
 - ・近隣との協力体制

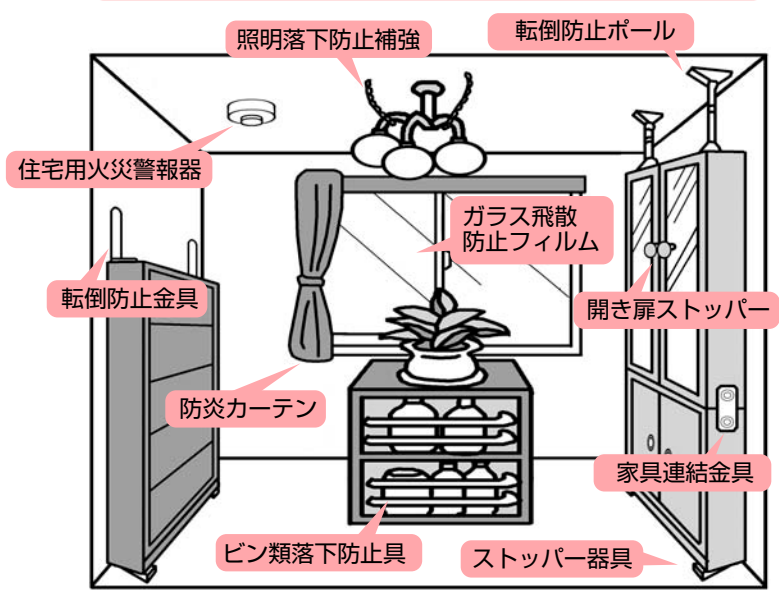
家具類の転倒・落下を防止しましょう

大きな地震が発生したとき、建物には特別な被害がないにもかかわらず、家具の転倒や散乱によって逃げ道がふさがれ、逃げ遅れたり、室内でけがを負う方が多数います。地震から身を守るため、家具類の転倒落下防止対策をしましょう。

安全確保のために

- ・高齢者や幼児の寝室に家具を置かない
- ・部屋の出入口付近に家具を置かない
- ・重いものを下のほうに収納する
- ・家具の上にガラス製品を置かない

家具の転倒・落下防止対策の例



入間東部地区消防組合 富士見市・ふじみ野市・三芳町	〒356-0052	ホームページ	http://www.irumatohbu119.jp/
	ふじみ野市苗間1-13-28	メール	shobo@irumatohbu119.jp
	☎049-261-6000	火災情報	☎049-263-0119 (音声案内)
	FAX049-261-4395	救急病院の案内	☎049-261-6000 (休日・夜間)

埼玉県内のAED設置施設の表示

みなさんの勇気と強い意志で救命処置をお願いします。

Q AEDを使うとき、必要のない患者に、誤って電気ショックを与えてしまわないでしょうか?

A AED(自動体外式除細動器)は、突然心臓がけいれんを起こし心肺停止になった場合に、心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを正常に戻す器械です。電源を入れると自動で音声案内が開始し、それに従って操作します。

電気ショックの必要性の判断は、器械が行います。必要なければ、スイッチを押しても、電気ショックを与えません。

